

～バリアフリーを考慮した地下道整備～

県都・福井市の中心市街に位置し、最も歩行者通行量の多い大名町交差点では、歩行者の安全確保を目的とし、大名町地下道・中央地下道を設置していました。しかし、高齢者・障害者にとって、昇り降りの不便さや地上の横断歩道の横断距離等の問題があったことから、安全性・快適性・利便性の向上と、健常者・高齢者・障害者など すべての人に使いやすい歩行空間をめざして、バリアフリー化を中心とした、ユニバーサルデザインによる改善事業を、次のように実施しました。



- 事業概要**
1. 事業名 : 特定交通安全施設等整備事業 道路交通環境改善促進事業
 2. 路線名 : 主要地方道 福井停車場線
 3. 地係 : 福井市昭化1丁目～中央1丁目
 4. 事業期間 : H12 ～ H15
 5. 事業主体 : 福井県

POINT 1 連続した地下道

織協ビルの地下空間利用によって、大名町地下道と中央地下道を連続。



織協ビル前 出入口 段差解消



整備後 概要図

POINT 2 段差のない安全な通路

誰もが安心して使いやすいように、地下道内部、出入口部の段差を解消。

POINT 3 エレベーターの設置

高齢者・障害者・車椅子の方々にも、不自由なく、安心して使っていただけるように、各地下道出入口には、大型ボタンや足ボタンを備え、貫通2方向出入が可能な重度障害者対応のエレベーター（11人乗り）を設置。

- ・大名町地下道 西出入口 : ■あお エレベーター を設置。
- ・中央地下道 三角スペース出入口 : ■きいろエレベーター を設置。
- ・中央地下道 南出入口 : ■あか エレベーター を設置。
- ・織協ビル内 : ■みどりエレベーター を障害者対応にリニューアル。



出入口別の色分け



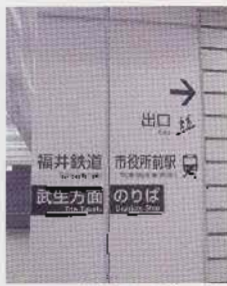
重度障害者対応エレベーターの設置

POINT 4 わかりやすいサイン

誰もがわかりやすく、迷わず利用できるように、各出入口それぞれにイメージカラーを配色した、初めての人でもわかりやすく、親しみやすい地下道。



出入口ごとの色別サイン



出入口のサイン

POINT 5 五感でわかる案内

視覚サインだけでなく、高齢者・障害者まで、誰もがわかりやすく、迷わず利用できるように、音声ガイドや点字ブロック・誘導案内図を出入口やエレベーターに設置、五感でわかる案内を整備。



見る (総合案内サイン)



触る (誘導案内図・点字ブロック)



聴く (音声ガイド装置)



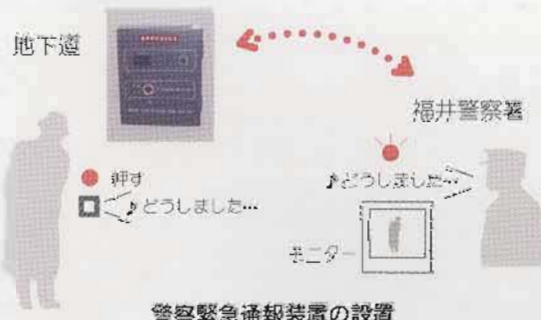
大名町 地下道内部



織協ビル 出入口

POINT 6 いつでも見守られている、安全・安心な地下道

地下道空間をできるだけ明るい空間とすることで、安全性を向上、また、防犯カメラを設置し防犯性を向上、緊急時には、地下道内の緊急押しボタンからワンタッチで福井警察署を呼出せる設備を整備。



警察緊急通報装置の設置



防犯カメラの設置

POINT 7 歩道の拡幅

地下道整備に伴い、大名町地下道 西側、織協ビル 西側の歩道を拡幅し、混雑時や雪道でも、通行しやすい歩道に再整備。



織協ビル西側 拡幅



大名町地下道西側 拡幅



三角スペースのエレベーター (きいろ)